

測定する能力		
漢字・語彙力	論理的言語力	論理的読解力
漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。	日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえたり、「ことばのつながり」指示語・接続語などを論理的に扱う力。	文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係、文章全体の論理構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。
	論理的思考力	論理的表現力
	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。	他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。

《問題Ⅰ》漢字・語彙力

(40点)

●解答

- 第一問 (1) 毒舌 (2) 宣告 (3) 巻頭 (4) 寸前
- 第二問 (1) 私欲 (2) 一刻 (3) 単刀 (4) 付和
- 第三問 (1) 賃金 (2) 安否 (3) 乳歯 (4) 収納

第四問

- (1) 快晴の日に植物園を散策した。
 (2) 主人公が膨大な数の悪党を倒した。
 (3) 下手な言いわけで墓穴をほった。

■配点

- 第一問 各2点 第二問 各2点
 第二問 各3点
 第四問 各4点(並べかえ・漢字 各2点)

◆解説

- 第一問 単漢字のそれぞれの意味をヒントに、語句を作成しましょう。
- 第二問 四字熟語の問題です。読み書きだけでなく、意味を考える力も試されます。

第三問

単に書き取りだけではなく、文脈上の意味をつかまえることが大切です。

第四問

助動詞・助詞を自立語につけて文節を作ります。
 (1) 主語は省略されています。「植物園を」

《問題Ⅱ》論理的言語力

(40点)

●解答

- 第一問 ① 遺家族は ② 空気は
 第二問 (a) ウ (b) イ (c) ア
 第三問 私が入江の家の空気から暗示を得て創った(短編小説)
 第四問 私は作品集の内容を最上質のものと
 第五問 (1) ア (2) ウ

■配点

- 第一問 各3点 第二問 各3点
 第三問 9点 第四問 10点
 第五問 各3点

◆解説

- 第一問 ① 何が「変わっている」のかというと、入江新之助氏の「遺家族は」です。
 ② 傍線部の前の指示内容を補うと、「普通の家の空気とは少し違っている」となりますが、何が違っているかというと、入江家の「空気は」です。

第二問

- (a) 筆者が創作集に愛着をもっている理由を空所直後で説明しているの、「なぜなら」。
 (b) 空所の直前で筆者は創作集を「だからしない作品」と言いながら、空所の後では筆者が創作集に愛着を感じている点が語られるので、逆接の「けれども」。
 (c) 空所前の「作者に愛されている作品」と、空所後の「短編小説」は同じものを指すので、ここには「すなわち」が入ります。

第三問

指示語の問題で「その」が指す直前の一文を「短編小説」に続くようにまとめます。その際「この家庭の」という部分を「入江の家」と具体的に書きかえましょう。

第四問

傍線部直後の一文で理由が説明されているので、これを字数以内にまとめます。

第五問

- (1) 「雨に」↓「ぬれた」↓「ねこが」↓「歩いた」↓「へいの」↓「上を」↓「歩いた」とつながります。
 (2) 「兄は」↓「かけている」↓「フレームの」↓「曲がった」↓「眼鏡を」↓「かけている」↓「黒い」↓「眼鏡を」↓「かけている」とつながります。

《問題Ⅲ》論理的読解力

(40点)

●解答

- 第一問 列車の三両
 第二問 (1) ウ (2) イ (3) エ (4) ア
 第三問 このニュー

第四問

エ

■配点

- 第一問 8点 第二問 各4点
 第三問 8点 第四問 8点

◆解説

第一問

「通りを意味する筋」とは、「堺筋線」という線名に含まれる「筋」の字を指します。

第二問

(1) ロシアの翻訳機が「スピリット」を「蒸留酒」の意にとり、「ウォッカ」と訳した経緯を説明する文なのでウ。

(2) 空所直後で冷戦から年月を経た機械翻訳の弱点が語られるのでイ。

(3) 直前で触れられた人工知能の急激な進化の例が入るのでエ。

(4) 直前の「ウォッカをあおる未来」とアの「お酒を楽しむ未来」が対比されています。

第三問

「過去から現在まで続く人工知能の失敗談」と「人工知能の進化に対する人々の期待と不安」の二つの話題があるので、話題が切り替わるところで分けられます。

第四問

ア 機械翻訳の話題は、人工知能の進化の例としては使われていません。

イ 機械翻訳の例の一部に触れているだけで、筆者の説明の仕方を述べた文として適当ではありません。

ウ 筆者は人工知能のせいで人々が「仕事にあぶれて」しまう未来に対する不安について述べています。

《問題Ⅳ》 論理的思考力 (40点)

●解答

第一問

(1) 姉は通訳になるため、いつも夜おそくまで英語の勉強をしている。
(2) 火星は地表の酸化鉄のせいで赤く見える、二酸化炭素の気体におおわれている太陽系の惑星だ。

第二問

(1) 工場の煙突が黒い煙を出していた。
(2) 姉のワンピースを着て公園に出かけた。

第三問

ぼくは、来週学校で行われるマラソン大会のために、毎朝公園で走っている。

第四問

元気を出すための苦い飲み薬だったチョコ

コレートが、甘いお菓子に変化した。

■配点

第一問 各5点 第二問 各5点

第三問 10点 第四問 10点

◆解説

第一問

(1) 「姉は勉強をしている」が共通する文の要点です。「いつも夜おそくまで」「通訳になるために」が「している」に、「英語の」が「勉強を」につながるようになります。

(2) 最も火星の本質的な点を述べているのは「火星は太陽系の惑星だ」なので、これを文全体の要点にします。「二酸化炭素の気体におおわれている」「地表の酸化鉄のせいで赤く見える」がそれぞれ「惑星だ」という述語につながるように書きかえます。

第二問

(1) 不要な語句は「せきこんだ」と「におい」です。

(2) 不要な語句は「まとった」と「洋服が」です。

第三問

②の文を「マラソン大会」が文末になる形に書きかえ、①の文の「マラソン大会」を説明する言葉にします。

第四問

文章の要点は最後の一文にまとめられています。ただ、「甘いお菓子のチョコレート」と言えばだれにでも伝わるのに対し、「かつて薬だったチョココレート」では意味が伝わりません。本文中から「薬」をわかりやすく言いかえている場所を探します。

《問題Ⅴ》 論理的表現力 (40点)

●解答例

第一問 ②

問(1) 「売り上げ高」よりも「売上高」という表記が選ばれているから。

問(2) (A) d (B) e (C) a

問(3) ひらがなで表記すると平易で親しみ

やすい文を作れる一方、漢字で表記すると意味をつかみやすく簡潔にまとまった文が作れる。

■配点

第一問 3点

第二問 問(1) 12点 問(2) 各3点

問(3) 16点

◆解説

第一問

公用文に使われるものと同じ表記で、選ばれた割合が大きいのは「売上高」と「打合せ」の二つしかありません。

第二問

問(1) 傍線部でひろきさんは、直前の部分と対比させ、「送り仮名を使わないほうが好まれる例」について述べています。その例にあてはまるのは、「売上高／売り上げ高」のみです。「打合せ／打ち合わせ」について、ひろきさんは「ほとんど差がない」と言っています。

問(2) グラフから(A)に入る条件を満たすのは、「dもしくは」です。選択肢の中で「イ」の書き方が良いと思うを選ぶ人の方が少なかったのは、「a 私達」と「e 楽しい事」の二つです。このうち「イ」の書き方が良いと思うを選んだ人は全体の四分の一にも満たない」という条件を満たすのはaだけなので、(C)にはaが、(B)にはeが入ります。

問(3) かなごさんは間接的に、ひらがな表記であれば「難しく」「堅苦しそう」にならずに済むと主張しています。一方でひろきさんも、漢字表記によって「意味がつかみにくい」ことや「まとまりがないみたいに感じる」ことを防げると主張しています。こうした二人の主張をもとに、全体をひらがなで表記する利点と漢字で表記する利点について述べた文章となるよう、自分の言葉で書きましよう。